

# とともに

たいせつな仲間 とともに 学 ぶ  
おかしん とともに 発展する  
塾 生 会 とともに 成長する

vol.9 No.2

November 2021  
令和3年11月16日  
発行



おかしん経営塾塾生会 支部長  
相澤建設株式会社  
相澤弘樹

## 2021年度 半期を終えて

「今だから出来ることを考え 共に成長しよう」を活動方針とし、本年度は、やれることを積極的に取り組んでおります。そんな中、各委員会にてテーマを設けアンケートを実施いたしました。

その結果、インターネット等で調べても出てこないような率直な意見が多数集まりました。アンケートを纏めたところ、これはそのテーマに参加していない他委員会のメンバーにも是非知っていただき、意見交換をしてもらいたいとの取り組みに発展いたしました。どれもこれもが年度計画に無い取り組み、また逆に事業の中止等もありますすべてを前向きに捉え、残りの半期も経営塾の今後の在り方につながればと思います。

## Aグループ公開委員会 11月9日

### 第1委員会 議題：HPについて

第1委員会のテーマは「ホームページについて」です。ここ10年でスマホが普及してほぼすべての人がインターネットと利用しています。自社の事業や商品のアピールもHPによって確認できてしまうのでHPの重要性は非常にあがっています。ですが知識不足の為、疑問や相談が多いと思います。アンケートによって疑問や相談を収集して専門の業界方々に解決策を回答していただき発信したいと思います。よろしくご祈願致します。

◆現在のホームページについての不満や改善したいことなど、具体的に回答が集まった。顧客目線の内容への変更や更新頻度の低さ、スマホ対応、動画の活用など、それぞれに具体的な不満、問題意識を抱えていることが分かった。また、SNSやYOUTUBEの活用については、すでに3割が実行済み、3割が利用を検討している段階であることも分かった。

### 第2委員会 議題：新型コロナウイルス感染予防対策について

新型コロナウイルス感染防止への取り組みについて、メンバーの会社内での取り組みが、他のメンバーの会社での取り組みに生かせたら良いと考え、ヒントを得やすいような設問にしました。

◆当然の結果のようだが、感染対策をしている企業は100%、具体的には検温や体調についての報告、消毒、換気、パネルなどの設置などが実行されていた。また、イベント出店や参加の自粛という回答も見られた。それらの対策が基本であり、さらなる対策は考えていないという結果となった。

### 第3委員会 議題：BCP 取組状況について

緊急事態時に他の企業の方が事業を継続させる為にどの様な企業防災やリスク管理を行ってみるかお聞きして参考にし、会員企業の方がこれまでの事業継続計画を見直す機会になればと思い設問しました。

◆BCPについての取り組み状況を人的資源・物的資源(モノ)・物的資源(金)・物的資源(情報)・体制、の5つの分類に分け設問とし、委員会メンバーの意識をグラフ化。代表的なものとして、人的資源については、「災害時に従業員と連絡を取れるかどうか」という設問、物的資源(モノ)については「地震や風水害時の会社周辺の危険性の把握について」とし、企業としての備えについての意識を問うた。

### 第4委員会 議題：SDGsについて

SDGsへの取り組み、聞いたことはあるけれど実際とどうなのか？SDGsも実際のところそういった現状でもありません。今後どう取り組んでいくのかという点よりも、まずはどれだけ知っているか？という所にポイントを当てました。取り組みの第一歩はまず知ること。今回のアンケートがSDGsを知るきっかけになり、社業やプライベートなどで意識を高めるとともに、今後自社での取り組みへと繋がっていく第一歩になれば幸いです。

◆SDGsが広く知られ始めている今、91.6%が「知っている」という回答となり、興味があるかという問に対しては66%がYesと回答。実際に4割がSDGsについて勉強しており、勉強方法はセミナーなどの勉強会や本を手に取り、知識を収集していることが分かった。現在の取り組みについては6割強が取り組みには着手できていない様子であったが、すでに公に発信していたり、宣言書の作成、社員へSDGsの配布を行っている企業もあった。



第1委員会委員長  
瀬戸 篤史



第2委員会委員長  
高比良 篤司



第3委員会委員長  
嶺澤 優



第4委員会委員長  
伊豫田 久訓



第5委員会委員長  
大須賀 則宏

### 第5委員会 議題：外国人実習生制度について

第5委員会のテーマは「外国人技能実習生について」です。実習生数は2019年には165万人を越え年々増えてます。これは国内労働力の減少とグローバル化が加速していることを現しております。制度運用済み企業/将来可能性の企業/知識習得の企業等あると思いますが、話し合いをして問題解決や事前知識の習得ができれば光栄です。難しいテーマのためメンバーに迷惑をかけてますが宜しくお願いいたします。

◆外国人実習生制度について認知度は83%と高かったが、実際に制度を利用するかという意味合いの設問にはネガティブな回答が多かった。理由として人材の充足や制度の目的そのものが合わないといった回答が見られた。実際の制度の利用率としても16%と低い数字であったが、利用のメリットデメリットについて具体的に委員会メンバーに知ってもらった。その他、質問・疑問項への回答は多く寄せられ、制度への関心の高さを伺わせる結果となった。



第6委員会委員長  
磯貝 泰隆

### 第6委員会 議題：わが社の強みや悩みについて

第6委員会のテーマは「わが社の強みや悩み」についてです。自社の経営について相談できる相手を見つけるのはなかなか難しいですが、地元で様々な業種の経営に関わる人の集合体であるおかしん塾生会だからこそ、お互いのリアルな情報がそれぞれの会社の問題解決につながるきっかけになればと思います。公開委員会では、すでに困りごとの解決など、塾生会でのマッチング事例もご紹介したいと考えています。宜しくお願い致します。

◆それぞれの自社について、SWOT分析を使用し設問。強みについては100%が「強みがある」と回答。具体的には知名度や技術、調達力、実績などが上がった。しかしまた、弱みについても100%が「弱みがある」と回答。内容としては技術継承や人手不足などの人的要因から、自社の組織的な仕組みによる管理体制や生産力、営業力に対する懸念が見られた。また、機会や脅威については内的要因・外的要因双方見られ、特に現在大きく変容しつつある市場動向に関する脅威については多く意見が出た。最後の「今求めていること、困っていること」については、分析で出た結果について目下意識した回答が寄せられた。

## Dグループ公開委員会 12月7日

### 第7委員会 議題：おかしん経営塾について

おかしん経営塾塾生会の活動を通じて様々な活動、経験、交流を行なってまいりましたが、新型コロナウイルスの影響により活動方式が様変わりしました。塾生の参加目的、今までの実績を聞き出し今後の経営塾の運営に活かしていくことのできる設問を設定させて頂きました。

ナ禍においても実施され、経済鈍化の中でも塾生同士が共に支え合っているという結果であると見ることが出来る。また、委員会形式である岡崎支部ではそれぞれの委員会での事業や委員会の運営についての意見をどのようにしているか問うたところ、87.5%が「参加しやすい」と回答。「対面の方が意見が出やすい」など、対面の良さに加えて、リモートでなら参加が出来るという条件の委員会メンバーも存在するため、両方の方式を導入するなど柔軟な対応も検討の余地があるようだ。

◆始めに、おかしん経営塾塾生会の活動によりビジネスでのつながりを持つことができたかという問いに4割近いポジティブな回答があった。そのビジネスマッチングについてはコ

### 第8委員会 議題：コロナ終息後のビジョンについて

コロナ終息という見えない未来について、皆どのように考えているのか聞き出せるよう、シンプルな設問にしました。またビジョンはそれなりの研究や計画を練らないと見えないものだと思いますので、細分化せず考えが聞き出せるような設問にしました。

施策は、自社の強みをさらに活かすもの、全く違う分野に乗り出すもの、ウィークポイントを補う者など様々であった。これらは市場動向をしっかりと分析し、自社がどの市場で何を極めるかを分析した結果であると同義。また、それらの取り組みが今後中期的にどのような経緯をたどるかの予測についての設問に対しては、6割5分の「上々」という回答が寄せられた。スリム化と回答した内容も、働き方改革の視点などで捉えており、ポジティブな意見であった。それぞれの企業が、今後新規事業に挑戦し、それらの事業を安定した柱にすべくすでに動いているという結果となった。

◆コロナ終息がいつになるのか不透明な状態のため、現在考えている新規事業への取組について問を設置、ほとんどの企業が、取り組みを実施あるいは計画中であり、考え中であると回答した。取り組みない・その他は0%であった。具体的な

## 今後の活動予定

- 11月13日 他団体交流事業 (Cグループ)
- 11月18日 タナベ経営セミナー (本部)
- 12月3日 経営講演会1 (Bグループ)  
株式会社イルサイト代表 末廣徳司氏  
16時 開会  
16時40分 講演開始  
「装いの影響力を学ぶ」
- 2022年  
1月28日 気になる経営者シリーズ講演会 (本部)

## 編集後記

今回のアンケートは岡崎支部初の試みでしたが、各委員会で意義を捉え、それぞれに面白い設問となりました。回答もしっかり集まり、率直な意見もたくさん出ていたようです。他の委員の全ての回答展開もなされ、きっと皆さんの今後の委員会活動や、自社の事業にも生きる、良い刺激や学びのきっかけをもたらしているのではないかと思います。これからの塾生会に、ますます期待したいと思います。